

【施設状況】

グループ名称	南長野運動公園総合運動場							
指定管理者名	南長野スポーツマネジメント共同事業体(構成団体:シンコースポーツ株式会社、株式会社長野県民球団、株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ、株式会社NTTファシリティーズ)					法人番号		
所管課	主	151000	スポーツ課	副				
構成施設	3489	南長野運動公園総合運動場						
施設分類	02	施設貸出1型	施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	野球場(愛称「長野オリンピックスタジアム」)、体育館・プール棟、テニスコート(16面)、屋内ゲートボール場(1面)、屋外ゲートボール場(5面)、相撲場、総合球技場(愛称「長野Uスタジアム」)、公園施設(噴水、大池、遊具、園路灯等)							
施設設置目的	市南部地域における市民のスポーツ・レクリエーション活動の拠点として整備し、心身の健康保持増進とみどり豊かな憩いの場の創出を図るため建設された。							
基本方針等	南長野運動公園総合運動場は、長野市を代表する基幹運動公園として、自然環境と調和し、幼児からお年寄りまで世代を越えた幅広い年代層にスポーツ活動の場と憩いの場を提供することのできる施設となることを目指している。さらに利用者に質の高いサービスとスポーツ鑑賞の場を提供することにより、利用増を図ることを求めている。							
主な実施事業	①施設貸出(一般利用)、②スポーツ教室・プログラム(野球場・プール・体育館・テニスコート・総合球技場)、スポーツ用品販売(プール・体育館)、審判講習会(野球場)、スポーツアカデミー							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	南長野スポーツマネジメント共同事業体(構成団体:シンコースポーツ株式会社、株式会社長野県民球団、株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ、株式会社NTTファシリティーズ)			指定回数	1 回
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日 平成28年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。				評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年比	評価
	野球場(オリンピックスタジアム)	人	124,280	114,170	134,623	93,932	70%	
	体育館	人	43,127	44,574	48,111	30,663	64%	
	プール(月額会員含む)	人	111,265	107,003	100,523	87,252	87%	
	テニス	人	60,999	61,954	61,002	53,988	89%	
	総合球技場	人	152,768	154,479	116,948	90,838	78%	
							#DIV/0!	
(特記事項) ・体育館・プール棟 令和元年東日本台風災害の避難所開設に伴う休止期間:令和元年10月12日から12月8日 ・体育館・プール棟 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う休止等期間:令和2年3月7日から3月31日								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	○施設の利用の許可に関する業務 ○施設及び設備の維持管理に関する業務 ○施設の利用の取り消しに関する業務 ○利用料金の収受に関する業務 ○予約システムによる利用許可の申請時に関する業務 ○物品等の維持管理に関する業務 ○南長野運動公園の管理に関して市が必要と認める業務						
	自主事業	○水泳、卓球、体操、フットサル、テニス等毎週各種教室の開催 ○少年野球教室(2,500名参加) ○ボールウォーキングコースにてボールレンタルと指導を実施 ○パルセイロホームゲーム来場者に向けた各種教室の開催 ○パブリックビューイング ○体育館棟にてスポーツ用品の販売とレンタル事業 ○軒先パーキングと提携した近隣駐車場の利用予約サービスの実施						
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・営業時間の拡大(テニスコート12月、3月ナイター営業、体育館・プールは元旦を除く年末年始営業) ・J3等開催時の駐車場混雑対策として、周辺駐車場やシャトルバスの手配及び一般利用者のための専用駐車場を設置 ・県内各球団の公式グッズ販売を実施 ・ホームページやチラシ、フェイスブック、Instagram、ユーチューブ、市広報等によるPR活動。クラブ会員向けのプログラムを多数開催							

3

3 利用者評価

	区分	内容		評価
			(1) 利用者要望把握方法	
利用者要望把握		(2) 調査、会議等の内容 利用者アンケートを体育館・プール棟、テニスコート管理棟に設置。 ホームページ等も活用し、111件のアンケートを回収した。 窓口で受けた要望等は、随時職員間で共有を図った。		
		(3) 調査、会議等の結果 調査項目 ①接客対応の満足度 とても良い 24% 良い 38% 普通 30% あまり良くない 3% 良くない 5% ②施設・設備の満足度 とても良い 11% 良い 23% 普通 38% あまり良くない 22% 良くない 6% ③利用料金全般の満足度 とても良い 20% 良い 25% 普通 32% あまり良くない 19% 良くない 4% ④施設サービスの満足度 とても良い 19% 良い 32% 普通 23% あまり良くない 21% 良くない 5% ⑤総合的満足度 とても良い 18% 良い 32% 普通 32% あまり良くない 14% 良くない 4%		
利用者評価		(1) 良好とする評価 ①プール:採暖室内を綺麗に改装していただいて嬉しい。 ②公園・駐車場:積雪時の公園内歩行コースが除雪されていてうれしい。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項 ①体育館:トイレのスリッパを新しくしてほしい。 ②体育館:トイレをウォシュレット化してほしい。 ③プール:貸し切りコースの場所を変えてほしい。 ④トレーニングジム:マシンでスマホをさわりながら長時間使用している人を注意してほしい。 ⑤レッスンプログラム:レッスンの終了時間を守ってほしい。 ⑥テニスコート:夜間照明が切れている場所がある。		
		<<対応措置>> ①体育館:男女トイレのスリッパをすべて新品に交換した。 ②体育館:男女トイレの各1か所をウォシュレットにした。 ③プール:土日祝のみフリーコース開放時間を長くして、ファミリー向けに変更した ④トレーニングジム:各マシンの利用制限時間を混雑時は20分とし、利用者が公平にできるようにした。 ⑤レッスンプログラム:レッスンの終了時間の厳守と、各レッスンとの間隔を15分にして参加に余裕を持てるようにした。 ⑥テニスコート:プレーに支障が出ない範囲で早急に対応した。		

4

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和元年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和元年度決算		平成30年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	113,086,000	利用料金	94,712,537	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	231,255,000	指定管理料	242,767,801		雑(納付金)		雑(納付金)	
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料	1,524,736	行政財産目的外使用料	1,558,655
	販売収入等	7,800,000	販売収入等	6,456,994		貸付料	342,583	貸付料	149,286
	その他収入		その他収入	539,756	その他		その他		
	フェンス広告料				フェンス広告料	5,500,000	フェンス広告料	5,940,000	
	公園占有料				公園占有料	13,386	公園占有料	13,290	
	計	352,141,000	計	344,477,088	計	7,380,705	計	7,661,231	
支出	人件費	86,000,000	人件費	97,039,023	歳出	指定管理料	242,767,801	指定管理料	222,172,445
	設備管理費	142,547,000	設備管理費	136,778,958		委託料	1,381,200	委託料	1,338,000
	備品購入費	9,000,000	備品購入費	10,276,766	需用費		需用費		
	修繕費	9,000,000	修繕費	8,921,531	役務費		役務費		
	光熱水費	74,000,000	光熱水費	62,565,974	使用料・賃借料		使用料・賃借料		
	事業費	3,390,000	事業費	3,488,307	修繕費		修繕費		
	事務経費	1,898,000	事務経費	2,098,145	工事請負費	1,749,000	工事請負費	4,897,800	
	本社経費	17,607,000	本社経費	17,030,732	備品購入費		備品購入費		
	その他	8,699,000	その他	8,477,000	その他	25,500	その他	6,000	
					不可効力営業補償	3,916,760			
	計	352,141,000	計	346,676,436	計	249,840,261	計	228,414,245	
自主事業	収入	40,870,000	収入	37,414,314					
	支出	25,742,750	支出	20,622,040					
	自主事業損益	15,127,250	自主事業損益	16,792,274					
損益		15,127,250		14,592,926	差引	-242,459,556		-220,753,014	
人件費比率【人件費(賃金等)／令和元年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								28.0%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				予算計上時に歳入額に応じた一定割合を本社経費として計上している。決算においては、収入額が減少したことに伴い本社経費が減額となった。					

5 管理運営全般 ※ すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	4	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案 ・地元雇用を積極的に推進し、優れた人材の発掘と育成 ・地域連携による活気ある施設運動の実現 ・市内業者との連携及び活用	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	8	
事業収支	3	12	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	4	16	
地域連携	4	8	
合計得点			
評価理由	・「利用者評価」について、現地モニタリングでは利用者に丁寧で明るい対応をしており、利用者アンケートでも「良い」「とても良い」の評価が昨年と比較してポイントが高くなっているため評価を「4」とした。 ・「危機管理体制」については、令和元年東日本台風災害の際、避難所開設前に住民が避難してきた状況であったが、適切に受け入れを行い、避難所開設の際も、迅速に対応したため評価を「4」とした。 ・「地域連携」については、市内職員雇用率が85%と高いため評価を「4」とした。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・会員数・利用者数の増加に向けた取り組みを行うこと。 ・引き続き施設老朽化に伴う事故防止を防ぐためにも、施設巡回等の強化を行うこと。	・無料体験レッスンの実施やクリスマスイベントとしてプール・トレーニング・レッスンの無料券を500枚配布し、利用者の新規確保に努めた。 ・巡回点検を一人の職員だけに任せず複数の職員の視点から、施設の危険箇所を確認した。	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・会員数・利用者数の増加に向けた取り組みを行うこと。 ・引き続き施設老朽化に伴う事故防止を防ぐためにも、施設巡回等の強化を行うこと。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き実施していく。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- 【サービス維持・向上】ホームページやチラシ、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブ、市広報等によるPR活動。
- ・クラブ会員向けのプログラムを週80以上開催。
- ・各種無料体験レッスンの開催。
- ・クリスマスイベントとしてプール・トレーニング・レッスンの無料券を500枚配布。
- ・J3リーグやなでしこリーグ開催時に臨時無料駐車場の手配とシャトルバスの運行。また、軒先株式会社と提携したサービスを実施し、駐車場緩和・違法駐車無くしている。南長野運動公園周辺に500台以上を確保。
- ・土日祝日のみ「一般利用者専用駐車場」を増設。それに合わせて第2駐車場・噴水スペースへ警備員を配置し、駐車場緩和を行った。

② 業務の効率化に対する取組み

- 施設の利用状況に合わせた効率的な人員配置を行った。
- 月に1度のJV会議実施により、各施設の問題点等の情報共有を行い迅速な対応を図った。
- 大会、イベント重複時の駐車場問題に対し、各エリア(第1～第4駐車場)をコントロールすることにより、効率的に利用者誘導を実現した。
- 設備管理(NTTファシリティーズ)との施設不具合等の共有により、迅速な対応が可能となった。
- PPS導入により、継続して電気代の削減に取り組んだ。
- 水道節水装置を各施設へ設置し、継続して水道代の削減に取り組んだ。

③ その他

- プールでの緊急通報システム(セーフティースタート)を引き続き導入した。
- 各市内の職場体験実習を積極的に受け入れ、現場教育の支援を行った。(令和元年度は、10名の受け入れ)
- プールにおいて日々、救助訓練等を実施し安全対策に取り組んだ。
- バルセイロサポーターや地域住民と連携し、施設美化や園内ゴミ拾い等を実施。
- スタッフが特定のセクション以外にも業務できるよう、マルチジョブシステムを取り入れた。
- 施設全体の市内雇用率85%。
- 「落葉回収BOX」を設置し、近隣住民へ園内の落葉を肥料として活用して頂けるようにした。
- 10月に発生した台風19号による災害の際、南長野運動公園は、避難所となり避難誘導や施設の開放、避難者に寄り添った心遣いをスタッフ全員が行った。
- 「台風19号」や「新型コロナウイルス」により、施設利用者及び施設利用料が大幅に減少となった。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- 経年劣化による施設や機材等故障が多くなってきた。
- 駐車場スペース不足(大型イベントや大会重複時)
- 「新型コロナウイルス」による感染・拡大防止策(長野市と連携を図っていく)

(3) 総合評価 評価基準
 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- 総合球技場で開催されているサッカーJ3リーグ(AC長野パルセイロ・レディース戦)では、収入面において 試合数増及びナイターゲーム増により増額になった。
- 野球場では7月にプロ野球開催があり全面協力し、25,542名の入場にも貢献した。
- 自主事業教室では、台風19号災害前に教室数を増やし会員数が増員できていたが、避難所になったことから一時休講になってしまった。予定通り開講していた場合、収入増が期待できた。
- プロ野球やJ1リーグ開催時の駐車場不足問題は、民間の駐車場サービスを活用し迷惑駐車及びクレームを著しく低下させた。(前年度:417台➡本年度:812台)
- 課題であった「プールの貸し切り場所の変更・延長」について、土日・祝日及び夏季期間をファミリー向けに開放時間を延長し、一般利用者にも不便をかけずに変更でき利用者から高評価を得た。
- 令和元年東日本台風災害(10月12日～)避難者の対応と施設開放等の全面的な協力を積極的に行った。
- 以上のことから、各施設の利用者数は台風災害・新型コロナウイルス感染により減員となったが、計画や目標を上回ったと自己評価し評価基準Bとした。

② 次年度以降の取組み

- 各施設においてイベントを開催
- 土日や大会・イベントなどの重複時に近隣企業・住民へ貸駐車場提供の依頼
- 施設の老朽化に伴い、修繕計画を立て実施していく
- 完全予約制駐車場(軒先パーキングサービス)の継続と駐車場台数の確保
- キャッシュレス決済の導入
- 自主事業「体力測定」を定期的に行い、サービス向上を図る
- クラブ会員及びキッズ会員へ向けた、施設案内等の「メール配信サービス @かんたんメールver2」の実施
- 閑散期の有効活用(冬期間の屋外施設や公園・広場)や参加者の希望が多いレッスン導入によるクラブ会員増などを目指して取り組む